

充実

こども夢・チャレンジ推進事業



こども未来部 こども政策課

子育て世代包括支援センター

1 予 算 額 21,683千円

2 目的及び効果 「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、世代を越えてつながるまちづくりを進めます。

3 事業概要

○**充実** 夢にチャレンジ助成金支給事業 1,432千円(こども政策課)

自分の夢を実現するための計画を募集し、チャレンジしたい内容をプレゼンしてもらい、優秀者に助成金を支給します。

【対 象】25歳以下の高校生、大学生、社会人等及び市内在学の学生。本人もしくは、保護者が住民登録等。(市内在学の場合は住民登録がなくても可。)

【助成額】上限30万円

自分の夢を自ら考え、その夢を発表する場を設け、将来助成金を利用してもらう契機とします。(優秀者に表彰記念品を贈呈)

【対 象】市内在住の中学生

【表彰品】図書カード1万円分

○**大学生等海外留学奨学金支給事業** 3,743千円(こども政策課)

海外の大学等に、3ヶ月以上留学しようとする大学生等に奨学金を支給します。

【対 象】15歳以上25歳以下の高校生、社会人等。本人もしくは、保護者が住民登録等。

【助成額】留学先の国・地域に応じて、12ヶ月を上限として、月額4～5万円を支給。

○学習支援事業「駒来塾」 4,208千円(こども政策課)

経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援を実施します。

【対 象】 中学1・2・3年生（学習塾に通っていないこと）

【教 室】 東部地区(篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中)

北里地区(北里中・小牧西中)

味岡地区(味岡中・岩崎中)

小牧地区(小牧中・応時中)

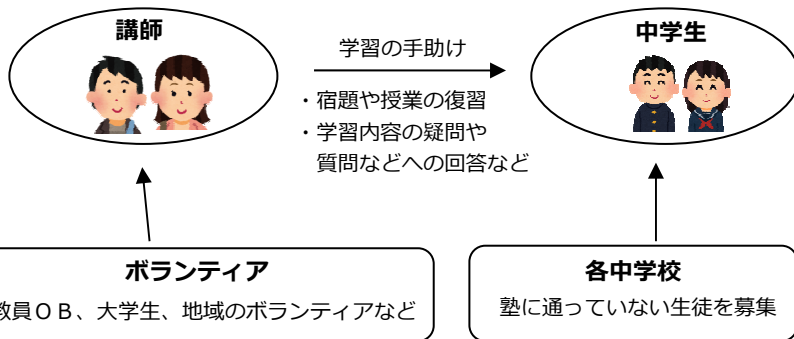
【開催日】 毎週木曜日 午後6時30分～8時

【実施場所】 東部市民センター、北里市民センター、
味岡市民センター、中部公民館

【参加費】 無料

※駒来塾のイメージ

基礎学力の定着をめざして学習支援活動を実施します。



○ひとり親家庭等支援事業 12,300千円(こども政策課、子育て世代 包括支援センター)

ひとり親家庭等のこどもが大学等に進学しやすい環境をつくり、また親と子の学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、安定した雇用につなげていきます。

※ひとり親家庭等支援事業のイメージ

ひとり親家庭等支援事業

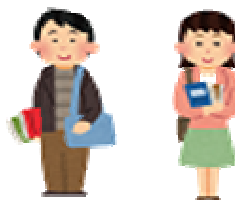
ひとり親家庭等入学支援金 給付事業 12,000千円 (こども政策課)

ひとり親家庭等のこどもが大学等に入学する際の準備に必要な費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、進学しやすい環境をつくり、自立を支援します。



ひとり親家庭高等学校卒業 程度認定試験合格支援事業 300千円(子育て世代包括 支援センター)

高校を卒業していないひとり親家庭の20歳未満の児童を対象に、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座受講料の一部を助成します。



充実 子育て世代包括支援センター運営事業

こども未来部 子育て世代包括支援センター



1 予算額 174,294千円

2 目的及び効果 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない子育て支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営することで、一層の子育て支援を推進します。

3 事業概要 子育て世代包括支援センターでは、利用者支援事業の基本型と母子保健型を一体で実施するほか、こども家庭総合支援拠点事業により、こども・子育てに関する相談(妊娠、子育て、発達、ひとり親、児童虐待など)の対応や、子育て中の保護者のリフレッシュのため、一時的に乳幼児を預かるなどして、子育て世帯を支援します。

① 充実 妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業 128,201千円

妊婦と胎児、産婦と乳児の健康診査及び新生児聴覚検査の費用を助成することで、疾病の早期発見・早期治療を図るとともに健康意識を高め、よりよい出産・育児のスタートにつなげます。

- ・産婦健康診査事業
- ・新生児聴覚検査事業
- ・妊婦健康診査事業
- (充実) 多胎妊婦健康診査5回分を追加交付)
- ・妊婦個別歯科健康診査事業
- ・乳児個別健康診査事業



② 母子保健型利用者支援事業 7,156千円

1)利用者支援事業 327千円

妊娠期から子育て期にわたる様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、関係機関と協力してサポートプランの作成やサービスの調整などを行います。

2)セカンドブック事業 6,829千円

子育て世代包括支援センター及び市内各児童館において、1歳の誕生日の節目にサポートプランを見直して、育児相談や必要な情報提供等の支援を行い、保護者の育児不安を取り除きます。また、絵本をプレゼントすることで、読み聞かせを通して、親と子の愛着形成を促進し、親と子の自己肯定感を育みます。

③ 妊娠・出産包括支援事業 5,819千円

産後うつ対策として、産後に心身の不調又は育児不安があり、家族から支援が得られない産婦とその児を対象に、安心して子育てができるよう、産婦人科医療機関等において、心身のケア(母乳ケア含む)や育児のサポートを行います。

④ 産前産後ヘルパー派遣事業 720千円

妊娠中から産後6ヶ月(多胎の場合は12ヶ月)にかけて、夫や祖父母など周りからの子育て支援が見込めない家庭にヘルパーを派遣して家事支援を行います。

利用者負担:500円/時間

市町村民税非課税世帯、多胎児育児世帯は250円/時間

生活保護世帯は免除

⑤ 一時預かり事業 24,818千円

子育て中の保護者のリフレッシュのため、生後6か月から就学前の乳幼児を子育て世代包括支援センター内で4時間を限度に預かります。

利用者負担:700円/時間

多胎児育児世帯は350円/時間

生活保護世帯、市県民税非課税世帯は免除

⑥ こども家庭総合支援拠点事業 7,580千円

児童虐待等に対して迅速に対応できるよう、児童虐待対応専門員、ひとり親相談員を配置します。

新規

児童クラブ環境整備事業



こども未来部 こども政策課

1 予 算 額 97,445千円

2 目的及び効果 児童が安全に放課後を過ごすことができる場所を充実させるとともに、職員が適切に業務を行うことができるよう、必要な環境整備を行います。

3 事業概要

(1) 児童クラブネットワーク構築事業 2,445千円

児童クラブと市をネットワークで結ぶことで、従来のFAXによる文書交換をPCによる文書交換に改め、業務の効率化を図ります。

(2) 小牧南児童クラブ改築事業 95,000千円

小牧南小学校の全面改築に合わせて、手狭となっている小牧南児童クラブを改築し、十分な広さの保育室を確保します。

・ 保育室4室、男女トイレ、専用玄関等



1 事業年度 令和2年度～5年度

2 予算額 30,322千円

3 目的及び効果 児童の保育、保護者との連絡調整、職員の労務管理など様々な業務を担う所長と指導員の処遇を改善することで人材確保と組織化を図りつつ、長時間就労している保護者のニーズに応えるため開設時間を延長します。

4 事業概要

(1)職員の処遇改善(令和2年度から実施)

所長と指導員の処遇改善(月給の引き上げ)を行うとともに、所長に対して管理者向けの研修を行い、マネジメント能力を向上させることで、児童クラブの組織化を図ります。

(2)新規 開設時間の延長

平日の開設時間を午後6時30分から午後7時まで延長し、午後7時までの利用を希望する保護者のニーズに応えます。

区分	令和2年度まで	令和3年度から
授業がある平日	授業後から18:30	授業後から19:00
学校長期休業中の平日	7:30から18:30	7:30から19:00

※土曜日の開設時間は変更なし

- | | |
|----------|--|
| 1 事業年度 | 平成30年度～令和3年度 |
| 2 予算額 | 4,067千円 |
| 3 目的及び効果 | 全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、小牧市における放課後子ども総合プランの導入を検討します。 |

4 事業概要

事業年度	事業内容
平成30年度	・児童の放課後のあり方に関する検討部会設置
令和元年度	・児童の放課後のあり方に関する提言書受領 ・小牧市放課後子ども総合プラン導入検討委員会設置
令和2年度	・小牧市放課後子ども総合プランに関する提言書受領
令和3年度	・2小学校(小牧・光ヶ丘)においてモデル事業を実施し、その評価・検証を踏まえて令和4年度からの事業計画を検討

【放課後子ども総合プラン】

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型を中心とした児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備等を進めることとして、平成26年度に策定されたもの。



1 予算額 5,267千円

2 目的及び効果 子ども会の活動を支援することで、地域での子育ての活性化を推進します。

3 事業概要

これまで、小牧市子ども会連絡協議会(市子連)を通して、市子連に加入している子ども会を支援してきましたが、令和2年度をもって市子連が解散することとなったため、令和3年度からは「こまきこども未来館」を拠点とする(仮称)子ども会活動支援連絡会議を設置し、市内で活動している子ども会すべてを対象に市が直接支援していきます。

(1)講師の派遣 420千円

子ども会で講座を開催するための講師を派遣します。

(2)バス借上げ 2,811千円

子ども会の行事で利用するバスを借ります。

(3)小牧市子ども会活動支援補助金 2,036千円

子ども会活動に必要な費用の一部を助成します。

基本額 15,000円

人数割 子ども一人につき200円

(4)その他

子ども会活動で、こまきこども未来館のスタジオ等の施設優先利用を可能とするほか、これまで市子連が実施してきたジュニアリーダー育成については、こまきこども未来館の児遊ひろばや体験ひろばでの活動の中でリーダー育成を図ります。



1 予 算 額 127,367千円

2 目的及び効果

「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」の理念を実現する施設として、「未来リテラシーを育む」というコンセプトのもと、子ども達にこれからの未来を力強く生き抜く力を育てる豊かな「学び」を提供し、小牧の子ども達やまちの「成長のシンボル」として、いつまでも愛される施設を目指して運営します。

3 主な事業概要

(1)こども未来館講座開催委託

地域のサポーターや企業、学官連携によりデジタルコンテンツ等を整備した大学などと協力し、体験ひろばにおいて、遊びや体験を通じて子ども達自身の学びにつなげられる講座を開催します。

(2)こまき巡回バス運賃負担

市内全域の児童が気軽にこまきこども未来館に来館できるよう、こまき巡回バス「こまくる」を利用した際の児童の運賃を市が負担します。



1 予 算 額 1,320千円

2 目的及び効果 3歳児健康診査の視力検査に、屈折検査機器を用いた目の検査を加え、6歳までにほぼ完成と言われる目の機能の異常が早期に発見でき、眼科への精密検査へ繋げることにより、子どもの健やかな成長の一助になります。

3 事業概要 3歳児健康診査の視力検査に、短時間で近視や遠視、乱視や斜視などの異常を発見できる「視力屈折検査機器(スポットビジョンスクリーナー)」を導入し、健康診査の充実を図ります。



▲視力屈折検査機器による検査

青年の家施設整備事業



こども未来部 こども政策課

1 予 算 額 24,950千円

- 2 目的及び効果 明治21年に建設された創垂館は、建物の各部に損傷・腐朽があり、平成24年8月から利用を中止していますが、近代以降の小牧山の歴史を物語る価値を有する建造物として、その価値を後世に伝えるとともに、こども向けの講座や茶道・華道など文化的活動等を中心に行う施設として、利活用の再開をするため、保存修理工事を行います。



3 事業概要

○創垂館保存修理研究委託・保存修理工事 24,950千円

(継続費[令和2・3年度]77,000千円)

令和2年度 仮設工事、屋根工事等

令和3年度 内外装工事、左官工事、建具工事、電気・給排水設備工事等

新規

キッズサポーター事業



こども未来部 幼児教育・保育課

1 予算額 4,600千円

2 目的及び効果 保育士不足は深刻な現状にあります。常に会計年度任用職員を募集していますが、応募がなく、様々な手段を尽くしているものの十分な確保ができていないため、園運営に支障をきたしています。そこで、保育士の負担の軽減を図るため、保育園で保育士の補助をするサポーターとして、保育学科等に在籍し保育士を目指している学生を雇用します。

3 事業概要

○キッズサポーター謝礼

市内公立保育園で保育の補助をする学生を雇用します。

雇用形態は、1日につき4時間、週3日の勤務を基本とします。



保育園・幼稚園等における感染防止対策事業 20,500千円



こども未来部 幼児教育・保育課

- 1 目的及び効果 保育園・幼稚園等において新型コロナウイルス感染症拡大を防止するための消耗品の購入など、継続的に安全安心な保育環境を提供します。

2 事業概要

(1) 公立保育園等(16園)、第一幼稚園(1園)

- ・飛沫防止用のアクリルパーテーション、アルコール手指消毒液等を購入し、各園において感染症対策を講じます。

(2) 市内私立保育園等(24園)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に要する費用の一部を補助します。(保育所等新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費補助金)

【補助額】1施設あたり 50万円以内

